

認定部門 長時間労働削減取組部門

取組による効果

- ・平成26年度の1人あたりの年間時間外労働は、平成22年度実績と比較して40時間短縮しており、平均勤続年数が2年以上増加しています。
- ・フレックスタイム制度利用率が100%となり、全社員が制度を利用しています。

従業員の意見

- ・労働時間に対する意識が高くなり、効率よく業務を行おうとする雰囲気が高まりました。
- ・定時退社日のある水曜日、金曜日には早く帰宅が出来るため、家族との時間を増やすことが出来たり、仕事仲間と慰安の時間を設けることができるなど、余暇時間の充実が図れている。今まで漠然と作業を行っていたが、日々のスケジュールを考慮し、効率的な業務を行うことが出来るようになってきています。
- ・以前の手書き勤怠簿だと総労働時間の把握が自分でも難しく、どの程度働いているのかがわからなかったが、労働時間に対する意識が生まれてきました。



※このリーフレットは東京ワークライフバランス認定企業の取組紹介のために東京都が発行したものです。

働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2016
Work Life Balance Festa Tokyo 2016



東京ワークライフバランス
認定企業

認定部門

長時間労働削減取組部門

住友重機械エンバイロメント株式会社



働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2016

Work Life Balance Festa Tokyo 2016



住友重機械エンバイロメント株式会社

会社概要

会社名	住友重機械エンバイロメント株式会社
代表者名	代表取締役社長 真鍋 教市
創立(創業)	2007年
所在地	東京都品川区西五反田7-25-9 西五反田ESビル
TEL / FAX	03-6737-2728 / 03-6866-5260
従業員数	232名(うち正社員数151名)
URL	http://www.shiev.shi.co.jp/index.html

 住友重機械エンバイロメント株式会社

事業内容

- ・プラントエンジニアリング事業
- ・水処理等の環境設備製造事業

目的・理念

「ワークライフバランスの推進による残業の削減と業務の効率化」

- ・従業員の仕事と日々の生活のバランスをとり、健康で快活な生活を送れることを目的として取組を推進しています。
- また、労働時間に対する意識を高めることで、業務の効率化を図り、生産性の向上を目指しています。



認定部門 長時間労働削減取組部門

取組内容

週二回定時退社の実施

- ・毎週水曜日と金曜日を定時退社日とし、定時以降の残業を原則禁止としています。

勤怠管理システムによる労働時間管理

- ・WEBシステムを利用し、労働時間の管理を行うことで、毎日の労働時間を正確に管理出来ると共に、日毎に残業時間の集計が出来るため、担当者自身はもちろん、上司・人事担当も労働時間を日々把握できるため、従業員に過重な作業負担がかかっていないか確認ができます。

会議の効率化による時間短縮

- ・会議時間の短縮を目的とし、会議議事内容を開催日前日までにメールで事前配布することとしています。
- ・各営業所間でテレビ会議システムを導入し、各営業所から出張で本社に来社するだけの無駄な移動時間をなくすようにしています。

フレックスタイム制度

- ・全社員を対象にフレックスタイム制度を導入しています。
- ・05:00~22:00までの時間内で社員の裁量に任せ、出勤時間を任意で調整可能としています。

